



はくろ（白鷺）の散歩Ⅶ

【つながりを感じる一日に！～大原小との交流会～】

令和7年11月6日（木）の5・6校時を使って大原小の児童の皆さんと交流を行いました。当日前までに両校の児童・生徒が何回か集まり、交流会の企画のアイディアを出し合っているのですが、今年は両校の「もっと触れ合う時間を長くしたい！」との希望から、レクリエーション活動の時間をたっぷりと取る形で行うこととしました。大原小は全校児童（学年閉鎖の影響で参加できない学年もありましたが…残念）、本校は4年次の生徒が交流しました。

両校のグラウンドとグラウンドとを隔てる金網のフェンスには一箇所、出入りのできる扉があり、普段はずっと鍵がかけられています。年に1回、交流会のあるこの日にだけ、開けられることになるのですが、鍵を外し、扉を開けた瞬間、私は毎年何とも言えない、特別な高揚感を味わっています。本校の生徒も大原小の児童も同じではないでしょうか。両校の生徒が集まり行う開会式にはいつも、普段と違う、興奮や期待を抑えきれないテンションの高まりを垣間見ることができます。

両校の児童・生徒は大原小の児童の学年ごとに、



ドッジボールやドロケイ、レンジでチンなどをたっぷりと楽しみました。中等の視点で見ると、生徒の中には童心に帰って一緒にしゃべり、日頃見せない気配りで優しく接する人など、いろいろ



令和7年11月20日
～校長室の窓から～ 令和7年度 No.14
神奈川県立平塚中等教育学校

校長 松本 靖史

なタイプの人がいましたが、それぞれが優しく接し、よく面倒を見ていたと思います。

別れ際、本校生徒の中には胸に張っていた自分の名前が書かれたシールを、「思い出に」と小学生にせがまれて渡している人がいました。人と人がつながることの素朴で原初的な喜びの交感とでもいえるでしょうか、純粋なこの光景を見て、この行事を長く続けていきたい、どの学年の中等生にも経験してもらいたいという思いを強くしました。（文章：澤村副校長）

【第3回登校時交通安全指導】

令和7年11月11日（火）から14日（金）にかけて、PTAの交通安全グループの協力を得て登校時交通安全指導を行いました。これは登下校において、交通マナーとルールを意識した社会的実践力の育成を図るとともに、生涯を通じて健康で安全な生活を送る態度の育成を目的としています。生徒の登下校マナーについては、ときどき近隣の方々からご意見をいただくがあるので、粘り強く指導しており、今回で3回目になります。平塚駅バス7番乗り場、学校周辺の通学路5か所で指導を行いました。

【令和7年度平塚秦野地区交通安全大会】

令和7年11月19日（水）の午後、伊勢原市文化会館大ホールにおいて、令和7年度平塚秦野地区交通安全大会が開催されました。標語コンクールには本校の生徒も応募し、「一瞬の油断 一生の負担」「曲がる角には危機来る」の2名生徒の作品が佳作に入賞しました。

また、高校生発表では、本校の生徒も学校周辺の危険個所を調べて発表しました。本校は試験期間中だったので、伊勢原高校の生徒が代読してくれました。ありがとうございました。

